NPO法人Annakaひだまりマルシェ

10th

私たちは、ママが笑顔になる事業を通して
笑顔溢れる地域づくりの一助になります。

ママが笑顔なら、
子どもも笑顔になれる。

目次

p 1	目次
p 2	実施事業紹介
p 3-4	事業紹介　ひだまりキッチン
p 5-6	事業紹介　子育てネットワークENTO!／フレーベルアカデミア
p 7-8	事業紹介　3.11とともにある事業／デザインマルシェ／ソーシャルラボラトリー
p 9-10	10周年とびら
p11-12	Annakaひだまりマルシェ　足跡
p13-14	10周年に寄せて　～メッセージ①～
p15-16	10周年に寄せて　～メッセージ②～
p17-18	10周年　バースデードネーション

Annaka ひだまりマルシェ

実施事業部門紹介

ひだまりキッチン

コミュニティカフェ
ぐんま・ほほえみネット
市民活動援助

子育てネットワークENTO！

安中市ファミリー・サポート・センター
ホームスタート

フレーベルアカデミア

子育て支援拠点
事業所職員等研修（中堅職員向け）

3.11とともに在る事業

甲状腺検査
土壌測定
子どもたちの健康に関する報告会

ソーシャルラボラトリー

効果測定

デザインマルシェ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

特定非営利活動法人Annakaひだまりマルシェでは
上記7つの課題に取り組んでいます。

「事業の成長段階」表記

事業の成長段階

立上げ期　変遷期　定着期　収束期

- **立上げ期**…暮らしの中の社会課題を見つけて事業を開始する時期。いちばんパワーが必要な時期です。
- **変遷期**……地域性や他事業との兼ね合いなどを加味しながら、事業の方向性を修正する時期。立ち上げ期のスピードを少し落とすことで、周辺環境に目を凝らしてフィットさせていきます。
- **定着期**……事業の方向性を見出し、安定運営を目指す時期。よりスピード感を落としながら、事業実施の目的を改めて確認していきます。
- **収束期**……他団体への事業内容の委譲や、フォーマルな事業として実施される見通しがたつなど、法人として事業を実施する役割が終了する時期。市民活動は、社会から必要とされなくなることが最終の目的だと考えています。

copyright©2023 NPO法人Annakaひだまりマルシェ

ひだまりキッチン

みんなのカフェ

事業の成長段階
立上げ期　変遷期　定着期　収束期

「食べる」を通して「つながり」をつくる場所

寄付型のコミュニティカフェ。
手持ちがないけどお腹すいたな、という時は、「余裕があるとき払い」ができます。

ランチ提供（毎週木・金）

地元の新鮮な野菜や、調味料を使って、心と身体が元気になるランチをご提供しています。

フリードリンクスペース（毎週月・火・木・金）

ちょっと誰かとお話ししたい、そんな時にもお気軽にどうぞ。

ぐーちょき弁当（毎月1回、土日祝日のいずれか）

コロナ禍、子育て中のみなさんを応援することを目的として始まったお弁当の日。（事前にご予約をお願いします）

これから　これからも、ご来店いただいた方の「おなかも心も満たす場所」を目指していきます。
顔の見える生産者の方の食材や調味料をできる限り使用していきます。
応援よろしくお願いします。

ひだまりカフェ変遷

2013年
キッチン改装工事の様子

2013年
初代ひだまりカフェ

2014年
大豆プロジェクト

2015年
イベントへの出店

ぐんま・ほほえみネット

事業の成長段階
立上げ期　変遷期　定着期　収束期

女性の安心な暮らしのお手伝いをする相談支援事業

群馬県委託事業。（2021年から現在/西毛地区担当）
女性が安心して暮らすための一助として、下記の事業を実施しています。

ひだまりダイヤル	電話相談
いただきますのおすそわけ	お弁当をお届けしながらお話をうかがうアウトリーチ
出張おしゃべり場	県営住宅でのアウトリーチ
来所相談	同行支援

課題　【長期間、課題を抱えている方への関わり方】
いろいろな方のお話をうかがう中で、これまでさまざまな相談機関に相談してきたけれど、解決に至らない方の存在を目の当たりにしています。「私たちに何ができるんだろうか」という自問自答が続いています。

これから　【長期間、課題を抱えている方への取り組み】
アドボカシー（権利擁護）という側面から、私たちにできることを検討していきます。

【相談員のメンタルヘルス向上に取り組みます】
さまざまなお話しを伺う相談員自身のメンタルヘルスを整えるために、2ヶ月に1回程度、カウンセリングを受ける体制を整えて行きます。

市民活動援助

事業の成長段階
立上げ期　変遷期　定着期　収束期

「なにかを始めたい」を応援

自分や身近な人が体験した困難や課題をなんとかしたい！という気持ちは、市民活動を始める原動力になります。
そんな「何かを始めたい」を応援する事業が市民活動事業。
私たちが市民活動を始めた当時の「あったらいいな」が起点になっています。

課題　【リソース不足】
資金、時間、人材不足が否めず、なかなか事業周知などができていない状況です。

これから　現在、市民活動を実践している方に協力を募りながらの事業運営を模索していきたいと考えています。

いろいろな方のご協力に、改めて感謝いたします。

2016年
認知症カフェ　オレンジサロン

2017年
オレンジサロンランチ

copyright©202 NPO法人Annakaひだまりマルシェ

安中市ファミリー・サポート・センター

事業の成長段階：立上げ期／変遷期／**定着期**▲／収束期

子育ての「手伝ってほしい」と「手伝うよ！」をつなぐ、相互援助のネットワーク

ファミリー・サポートは、安中市での子育てを応援することを目的とした、相互援助活動。
お子さんを「ちょっと預かってもらいたい」という方と、「子育てを手伝うよ!」という会員さん同士をマッチングすることで、安中市での子育てをみんなで支える会員組織。安中市委託事業（2018年から現在）

会員同士のマッチング

子育てサポーター養成講座の開催

子育て支援に携わってくださる方を養成する講座

お子さん向けのイベント開催

課　題　**【提供会員（お子さんを預かっていただく方）の不足と高齢化】**
会員のみなさんをいかに増やしていくのか、ということが、何よりもこの事業の課題となっています。

これから　ファミリーサポートは、単に子どもを預かる託児サービスとは一線を画した事業で、地域の中で困った時には「お互いに」助け合うという考えがベースになっている事業であり、「相互援助活動」と言われる所以でもあります。
このような考え方をお伝えしながら、これからも、子育てサポーターのみなさんと一緒に、暮らしやすいまちづくりを進めて行きます。

ホームスタート

事業の成長段階：**立上げ期**▲／変遷期／定着期／収束期

「傾聴」と「協働」の姿勢でママたちに寄り添う、イギリス発祥のボランティア活動

自主事業：共同募金地域配分事業（2021年,2022年,2023年）
未就学のお子さんが一人でもいるご家庭に、研修を受けた地域のボランティアさん（ホームビジターさん）が訪問するボランティア活動。

- **週に1回、2時間程度、ホームビジターさんがご家庭を訪問します。**
- **お母さんやお父さんと一緒にお子さんと遊んだり、お話をしたり、一緒にお出かけしたりします。**
- **お母さんやお父さん、そしてお子さんと「一緒に」と活動する、という点が特徴です。**

群馬県子育て支援拠点事業職員等研修（中堅職員向け）

事業の成長段階：立上げ期／変遷期／**定着期**▲／収束期

子育て支援の担い手の育成

地域子育て支援拠点に勤務している中堅の職員の方（勤続年数3年以上）を対象とした研修。
群馬県委託事業（2020年より現在）

課　題　**【日々の業務に生かしていただける研修メニューの企画】**
様々な研修事業に共通して言えることですが、参加者の方の日々の業務に生かしていただくことができる各種メニューを企画立案することの難しさに直面しています。いろいろな研修メニューを試しながら、私たちなりの解を見つけていきたいと考えています。

これから　子育て支援事業を実施している私たちだからこそ可能な研修とは何か、改めて考えることで、当事者の「今」に寄り添う内容の研修を、今後も実施していきます。

課　題　**【家事支援のボランティア活動と混同されてしまう点】**
一緒に活動することで、お母さんやお父さんのメンタルヘルス向上を目指すことが活動趣旨なのですが、「お母さんやお父さんに替わって家事をする」家事支援事業と捉えられることが多いのも事実です。
それだけ、家事支援を求めているお母さんやお父さんが多いこと、そしてそれらの家事支援事業が不足していることの表れ、とも言えると考えています。

【資金調達】
現状では、日本における子育て支援のメニューにはない事業であるため、安定的な資金調達が困難であるのが現状です。

これから　制度に結びつく前段の事業であるが故に、さまざまな課題が顕在化している事業です。
ただ、拠点型の子育て支援は、その場に行こうと思っても、さまざまな事情でいくことができない方にとっては遠い存在であり、だからこそ、今後、アウトリーチ型の子育て支援がより重要になると考えています。
焦らず、できる範囲で、しかし着実に、実績を積み重ねていきます。

copyright©2023 NPO法人Annakaひだまりマルシェ

3.11と共にある事業

甲状腺エコー検査

事業の成長段階
立上げ期　変遷期　定着期　収束期

暮らしの中の社会課題に向き合う、私たちの原点。

群馬県内での出張甲状腺エコー検査を実施しています。

- パルシステム連合会助成事業
- 2015年より現在

課　題

【社会的な関心】
3.11から12年が経過しているという時間的な経過に加え、群馬県という立地も相まって、放射線の健康への影響について、当事者である感覚を持つことが困難であること。

【影響の分かりづらさ】
放射線の健康への影響が、実感しづらいものであるため、課題感を持つことが困難であること。

これから

ペルソナ設定を改めて行うことで、より、訴求力のある広報活動を実行していきます。
また、協力団体の方々との事業実施の目的の確認をしていくことで、継続的な実施を目指します。

2023年度 **甲状腺エコー検査報告会**

～様々な立場で語りあう！「甲状腺検査のこれから」～

参加無料・要お申込み

2023年
10月29日（土）
13:30～16:30

Gメッセ群馬
401小会議室
群馬県高崎市岩押町12-24

お申込み・お問合せ

NPO法人Annakaひだまりマルシェ
☎027-384-3131
（水除く平日9時～17時／土9時～15時）

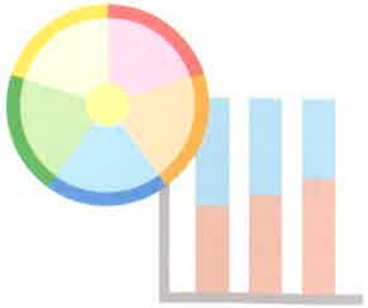
ソーシャルラボラトリー

研修効果測定（ソーシャルインパクト評価）

事業の成長段階
立上げ期　変遷期　定着期　収束期

事業を通して創り出した、「見えない変化」を可視化する。

定性的な変化を重要視する非営利活動において「見えない変化」をどのように測るか、という点はとても重要であり、ひだまりマルシェではソーシャルインパクト評価の手法を採用しての効果測定に挑戦しています。



これから

現在は、研修事業においてのみ、ソーシャルインパクト評価を実施していますが、今後は全事業において実施できるようにしていきたいと考えています。
「どんな変化（インパクト）を社会に与えたいのか」ということを委託元や助成元の皆さんと語りながら事業を実施していきたいと考えています。

デザインマルシェ

デザイン

事業の成長段階
立上げ期　変遷期　定着期　収束期

法人内外のチラシやパンフレット、ホームページ等の制作引き受け

ひだまりマルシェ自主事業（2021年8月より正式の設部）。
法人のチラシ・パンフレット・ホームページ等のデザイン・管理から、法人外からもご依頼を受けデザイン作成を行う。

課　題

【法人外からのご依頼の際のイメージのすりあわせの難しさ】
顔を合わせない状態でのイメージのすり合わせの難しさを感じています。フォーマットの作成やすりあわせ方法などを検討中ですが、双方の都合の落としどころを見つけることに苦慮しています。

【デザイン制作の経験不足】
独学でデザインを学んできているため、まだまだ経験不足は否めないと考えています。

【デザイン部のあり方】
一般企業では難しいフレキシブルなご依頼にも対応したいと考えていますが、本当にその形が良いのかどうかを今一度考える必要があると思っています。

これから

ホームページ制作では新たにWordpressに挑戦中です。デザインの形や方法を常に吸収し成長している自覚があり、これからも楽しく有意義に事業を行って行きたいと考えています。
また、デザイン制作を通じて、地域の方の活動の後ろ支えができるような事業に成長させていきたいです。

チラシ等のデザイン発注承ります。お気軽にお問合せください。

copyright©2023 NPO法人Annakaひだまりマルシェ

NPO法人Annakaひだまりマルシェは2023年11月12日で設立10周年を迎えます。

10th

copyright©2023 NPO法人Annakaひだまりマルシェ

ひだまりマルシェ　10年のあしあと

市民活動時代　『放射能から子どもを守ろう安中の会』

2012年3月 市民活動スタート

- 3月18日 講演会「内部被曝を防ぐ調理法」
- 4月17日 座談会「野呂美加さんを囲む会」
- 4月21日 結成総会／意見交換会
- 5月19日 講演会「放射線の健康への影響」
- 6月16日 意見交換会「安中市の除染を考える会」
- 6月24日 調理実習「あずきを使ったおやつづくりの会」
- 7月29日 講演会「放射能汚染 安中市の現状と私たちにできること」
- 8月26日 イベント「あんなか子どもサロン」
- 11月17日・18日 上映会「モンサントの不自然な食べ物」
- 12月13日 意見交換会「保育園の放射能対策実施に向けての合同検討会」
- 2013年1月27日 学習会「『原発事故子ども被災者支援法』学習会と意見交換会」

2013年4月 市民活動終了

2013年6月19日 法人設立総会

2011　2012　2013

2011年3月11日
東日本大震災
福島第一原子力発電所事故

出典：気象庁(https://onl.tw/X6B8kWb)

はじまり

Annakaひだまりマルシェの始まりは、3.11。
福島第一原子力発電所事故による低線量の内部被曝の影響を心配したママたち、そして専門家の方、市民の方が集まったのがきっかけです。
この市民活動の経験は、暮らしの足元にある社会課題に向き合っていくことの大切さを私たちに教えてくれたきっかけでもあり、その難しさを実感した経験でもありました。

私たちは、暮らしの足元にある社会課題に向き合っていくために、甲状腺エコー検査を実施しています。

NPO法人時代　『NPO法人Annakaひだまりマルシェ』

2013年11月12日 NPO法人Annakaひだまりマルシェ設立

2014年2月14日 南岸低気圧による大雪

2014年4月 あんなかミニ・ファミリー・サポート・センター 開設

2015年2月6日 「ぐんま一番」放送（安中市特集内にて法人紹介）

2015年6月 3.11事業開始　開始

2017年4月 ファミリー・サポート・センターが県から安中市主体に変更となり、安中市ファミリー・サポート・センターと改名

2017年7月 当初 子育てサポーター養成講座開催(ファミリー・サポート・センター)

2018年11月12日 あんなかブックフェスティバル2018開催

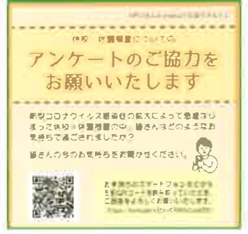
2019年6月 研修旅行(和光子育てネットワーク・おやこ広場もくれんハウス)

2019年3月 子育てフリーペーパーENTO!創刊

2020年2月 子育てサポートあんなか(現・子育てネットワークENTO!)発会式

2020年4月7日 新型コロナウイルス感染症　当初 緊急事態宣言

2020年5月 休園・休校措置に関するアンケート実施



2020年12月 地域子育て支援拠点事業所職員等研修(中堅職員向け) 開催

2021年2月 「コロナ禍でもつながる子育て支援とは」 開催

2021年4月 ホームスタートあんなか スタート

2021年4月 ぐーちょき弁当　スタート（コロナ禍の子育て支援として）

2021年10月 ぐんま・ほほえみネット事業(相談支援事業)受託

Annakaひだまりマルシェ 10th

2014　2015　2016　2017　2018　2019　2020　2021　2022　2023

copyright©2023　NPO法人Annakaひだまりマルシェ

MESSAGE

ひだまりマルシェ10周年に寄せて、みなさまからメッセージを頂戴しています。

こちらに頂いたメッセージをひとつひとつご紹介いたします。

勝見　朱子　さま　NPO法人Annakaひだまりマルシェ　理事

ひだまりマルシェとの出会いやつながりについて教えてください。

ひだまりマルシェの活動の原点とも言える3.11の出来事をきっかけに出会い、活動に参加させていただきました。その後、まず、問題の本質についてきちんと知ること、人との繋がりをたいせつにつくることは私の大事な核となりました。
現在はファミリサポーターの養成講座やその他アロマクラフトの講座な度を中心に関わらせていただいています。

ひだまりマルシェのどんなところに共感し、応援してくださっているのでしょうか？

その時々のニーズに合わせて活動を展開していくひだまりのみんなのエネルギーにいつも驚かされます。そのエネルギーが集まって、周りの人をあたたかく包み込みますようにその時々のニーズに合わせて活動を展開していくひだまりのみんなのエネルギーにいつも驚かされます。そのエネルギーがおひさまの光のように温かく、やさしく、時には強く周りの方を照らし、包み込みますように！！

星野　由紀　さま　NPO法人Annakaひだまりマルシェ　理事

ひだまりマルシェとの出会いやつながりについて教えてください。

私が子どもの頃は、近所のおばちゃんやおじちゃんがいつも気に掛けてくれて、関わってくれ、地域全体で子どもを育てていたように思います。ひだまりマルシェにはそんな良き時代を感じました。

ひだまりマルシェのどんなところに共感し、応援してくださっているのでしょうか？

子どもは宝。その子育てを地域で一緒に考え、親御さんの不安を解消すべく活動しているひだまりマルシェに共感を覚えます。

10周年を迎えるひだまりマルシェに向けて一言お願いします。

あっという間の10年でしたが、スタッフの皆さんには色々なご苦労が有ったと思います。これからも、子育て支援を必要としている方の力になり、地域に根付いて下さい。
安中には「ひだまりマルシェ」があるから子育ては安心、そんな場になればいいな～。
応援します。

増田　守男　さま　NPO法人Annakaひだまりマルシェ　監事

ひだまりマルシェとの出会いやつながりについて教えてください。

設立メンバーからNPO設立するので社員になってほしいという要望があったのでそれ以来です。

ひだまりマルシェのどんなところに共感し、応援してくださっているのでしょうか？

新しい取り組みをすることは困難があります。すこしでもこれからの社会を担っていく若い人の力になれたらと思っています。

10周年を迎えるひだまりマルシェに向けて一言お願いします。

つい大きな所に目をむけがちですが、ごくありふれた日常の中に大事なことが落ちていることがあります。そこを見落とないようにしたいものです。

山田　秀一　さま　NPO法人Annakaひだまりマルシェ　社員

ひだまりマルシェとの出会いやつながりについて教えてください。

3.11、東日本大震災で福島第2原発が爆発し、放射能が拡散した時。私は、その濃度を説明していた関係でひだまりマルシェの代表のお二人が我が家に来訪され、その時放射能とその影響についての私見を説明させていただきました。それが最初の出会いだと思います。

ひだまりマルシェのどんなところに共感し、応援してくださっているのでしょうか？

ひだまりマルシェは自らだけの利益を求めないで、社会全体に目を向けていて、社会の中で行政の行き届かないところに、援助の手をさしのべている、そのようなNPO法人はなかなかありません。今の社会には見えない貧困があります。私たちも決して金銭的に豊かではありませんが、生産物等でささやかな協力をさせていただきます。

10周年を迎えるひだまりマルシェに向けて一言お願いします。

10周年は重要な一区切りだと思います。これまで実施してきた活動が人々から理解され支持されてきた証だと思います。残念ながら世界は戦争や環境危機、食糧不足、貧困etcなど解決すべき課題が山のようにあります。でもだからねばり強く活動をやめないことが重要で、いつかチャンスがくると思います。それを信じて！！

井口　奈津子　さま　NPO法人Annakaひだまりマルシェ　スタッフ

ひだまりマルシェとの出会いやつながりについて教えてください。

娘が通う保育園に何だか面白そうなママさんがいるなぁ…と興味本位で近づきました。あれから10年！
時が経つのは早いですね。

ひだまりマルシェのどんなところに共感し、応援してくださっているのでしょうか？

新しいことをはじめるフットワークの軽さと実行力、私自身の子育てにとてもいい刺激をもらっています。
子育てに悩むお母さんたちに伝わって欲しいです。

10周年を迎えるひだまりマルシェに向けて一言お願いします。

たくさんの人を支えて、支えられて迎えた１０周年ですね。２０周年、３０周年の時もよろしくお願いします(^^)

copyright©2023　NPO法人Annakaひだまりマルシェ

加藤　明日美 さま　　NPO法人Annakaひだまりマルシェ　社員

ひだまりマルシェとの出会いやつながりについて教えてください。

子どもの育児におわれている時に、ファミサポの講習へ参加したのがきっかけで、気づいたら相談員としてお世話になっていました。実は学生の時になりたい職業の1つ。ご縁を感じています。

ひだまりマルシェのどんなところに共感し、応援してくださっているのでしょうか？

自分とは違う意見を持つ方、違う立場の方、こんな人がいるんだと感じられる場所です。こんな素敵な場所があることをもっと知って欲しいと思います。

10周年を迎えるひだまりマルシェに向けて一言お願いします。

10周年おめでとうございます。私はスタッフとして短い期間しか関われていませんが、また一緒に20周年をお迎えできるよう応援しています。

川島　真希子 さま　　NPO法人Annakaひだまりマルシェ　社員

ひだまりマルシェとの出会いやつながりについて教えてください。

精神疾患のある方のリカバリー（＝病気と上手く付き合いながら人生を楽しむ主体性を持つこと）に興味があり、リカバリーカレッジに参加、その活動を通してAnnakaひだまりマルシェと出会いました。

ひだまりマルシェのどんなところに共感し、応援してくださっているのでしょうか？

ひだまりマルシェのビジョンの中には、『障がいがあってもあなたがひとりの大切な人として「あなたらしく」暮らせますように』という言葉があります。この言葉の通り、ひだまりマルシェは精神疾患を抱えている私でも誰かの役に立てる場であり、自身の生きがいに繋がっています。

10周年を迎えるひだまりマルシェに向けて一言お願いします。

１０周年おめでとうございます！誰もが「あなたらしく」暮らせる地域づくりのお手伝いができることを、嬉しく思います。これからもよろしくお願いします。

齋木　亜弓　　NPO法人Annakaひだまりマルシェ　社員

ひだまりマルシェとの出会いやつながりについて教えてください。

最初は物販でお世話になっていましたが、その時声をかけてもらってからのご縁です。ひだまりマルシェは、私の社会の見え方や考え方を大きく大きく広げてくれた場所です。

ひだまりマルシェのどんなところに共感し、応援してくださっているのでしょうか？

思いや考えを口にしたら真剣に受け止めてくれるという安心感が、なによりも居心地の良さにつながっていると思います。応援するというよりも、ずーっと応援してもらっています。

10周年を迎えるひだまりマルシェに向けて一言お願いします。

節目のお誕生日おめでとうございます。これからも新しい新鮮な気づきや、考え方をいただけること、とても楽しみにしています。

MESSAGE

上原　雅代 さま　　NPO法人Annakaひだまりマルシェ　元社員

ひだまりマルシェとの出会いやつながりについて教えてください。

出会いは、ひだまりマルシェ設立前の市民活動団体時に、団体が開催した勉強会に参加した時です。市民活動時から2023年4月まで、ボランティアやスタッフとして関わらせていただきました。

ひだまりマルシェのどんなところに共感し、応援してくださっているのでしょうか？

関わりを持った方ひとりひとりのお話を、丁寧に聴く姿勢。課題や問題解決につながるような情報収集や学びへの行動力。大変なことだけでなく、嬉しいことも一緒に喜ぶスタッフ達の人柄。

10周年を迎えるひだまりマルシェに向けて一言お願いします。

10周年おめでとうございます。これまで大変な時期も多々あったと思いますが、それを乗り越えて今日があります。ひだまりマルシェの持ち味である「対応力」を活かして、益々のご活躍を期待しております。

法人設立から10年が経った今、ひだまりマルシェは私にとって なくてはならない大切な場所になっています。そして関わってくださる皆さんにとっても、大切な場所になっているといいな、と改めて感じています。

ひだまりマルシェが、学校や職場、家庭とは異なる皆さんにとっての「第3の場所（サードプレイス）」になれるように、これからも活動に邁進してまいります。

この場をお借りして、これまでの感謝を心からお伝えするとともに、どうぞこれからも、よろしくお願いします。

NPO法人Annakaひだまりマルシェ　代表理事　**神戸 るみ**

copyright©2023 NPO法人Annakaひだまりマルシェ

「子育てをママ任せにしない社会」は、
「全ての人にとって暮らしやすい社会」であると、
私たちは信じています。

特定非営利活動法人Annakaひだまりマルシェ
10周年記念冊子

発行日：2023年9月10日
発行者：特定非営利活動法人Annakaひだまりマルシェ
代表理事　神戸　るみ
連絡先：027-384-3131

copyright©2023NPO法人Annakaひだまりマルシェ